

# ■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人県央福祉会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立身体障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の身体障害者及びその介護を行う者に対し、通所による機能訓練、創作的活動、介護方法の指導等の各種のサービスを提供することによって、身体障害者の自立と社会参加を促進し、もって、身体障害者の福祉の増進を寄与する。 ※障害福祉サービス事業(生活介護)を実施。
施設概要	開館時間:午前8時30分から午後5時まで 休館日:日曜日、祝祭日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 年間開所日数:293日 延床面積:721.44㎡ 主な施設:食堂、作業・日常訓練室、休憩室、健康管理室・相談室、浴室(一般、機械)、脱衣室、トイレ、厨房、事務室、給湯室、倉庫、機械室
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	5,649	5,209	5,584		
自立支援給付費(円)	115,994,377	108,948,564	113,356,002		
利用者負担金(円)	101,177	95,040	99,173		
収入総額(円)	120,914,978	113,390,631	117,588,958		
支出総額(円)	136,736,784	113,654,614	114,345,177		

## 3 成果指標の達成度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価(5評価)	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>A</b>				<b>17</b>

指標	
指標名(単位)	開所日1日当たりの平均通所者数 単位:人
指標式と指標の説明	施設を利用し、機能訓練、創作活動等のサービスの提供を受けることにより、身体障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数(年間通所者数÷開所日数)を成果指標とする。

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	17.5	17.5	17.5		
実績値(人)	19.3	17.8	19.1		
達成度(%)	110.3%	101.7%	109.1%	#DIV/0!	#DIV/0!

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>20</b>
	<b>S</b>	<b>S</b>	<b>S</b>				

#### 市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
生活介護の業務	<p>○通所される利用者への日常生活上への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の平均障害支援区分は、5.4</li> <li>・医療的ケア対応のため、看護師を毎日2～3名配置</li> </ul> <p>○外出プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策を施したうえで、また法令等で許される範囲で、希望者に対し、施設近隣への散歩など外出機会の確保。各曜日で週に1回程度。</li> </ul> <p>○季節に合わせたプログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策を施したうえで、また法令等で許される範囲で、飲食を伴わない行事参加の機会を確保。通常日課の範囲内・規模で実施、各曜日で月に1回程度。</li> </ul>	<p>○利用者さん個々に対して、日中生活上で必要とされる介助・介護の提供と、それに付随して医療的な対応が必要とされた際に、専門職(看護師等)により医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養を提供しています。</p> <p>○コロナ感染状況や、当日の天候など諸条件に問題がない範囲で、外気浴を主目的とした外出の機会を設けています。ただし、その頻度は各曜日で月に1回程度となっています。</p> <p>○創作活動やゲーム等の余暇プログラムには講師、ボランティアを導入し、通常日課の範囲内で、各曜日で月に1回程度の活動機会を設けています。</p>
入浴サービス	開所日に、入浴希望の利用者へのサービス提供。	令和3年度実績:3579件 令和2年度実績:3673件 令和元年度実績:3393件
食事の提供	嚥下障害などの自力での食事が困難な利用者への支援。個々の特性に応じた特別食の提供。	令和3年度実績:3974件* 令和2年度実績:3988件* 令和元年度実績:4452件* *食事提供加算の計上件数
送迎サービス	行きと帰りのご自宅まで送迎サービスの実施。	令和3年度実績:9097件 令和2年度実績:10273件 令和元年度実績:8841件

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>A</b>				<b>12</b>

### 利用者満足度調査

調査手法	施設の利用者に配布
目標値の基準	令和2年度までは、7段階評価の「とても満足」「満足」「やや満足」「どちらでもない」と回答した人の割合 令和3年度からは、6段階評価の「とても満足」「満足」「やや満足」と回答した人の割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	92.3	92.9	93.5		
実績値（％）	92.2	92.8	94.9		
達成度（％）	99.9%	99.9%	101.5%	#DIV/0!	#DIV/0!

### 利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
「利用者の声ボックス」の設置	所内に投書箱を設置し、そこで受けた各種の要望に対し、適宜対応しています。

### 利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
職員配置(人員補充)に関するもの	人員配置に関しては、配置基準を満たしたうえで、職員の退職や異動等に合わせ随時採用活動を行っています。
設備・備品に関するもの	送迎車両、浴室、トイレに改善要望が集中しています。送迎車は経年摩耗に応じて入れ替えを実施、浴室・トイレは改修を検討中です。
リハビリに関するもの	機能訓練の実施回数増加の要望、また自主トレ用の機材の導入についての要望が主となっています。対応可能な部分から改善を実施しています。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>17</b>
	<b>S</b>	<b>B</b>	<b>S</b>				

### 施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	121,292	113,391	117,589		
指定管理料	0	0	0		
利用料金収入	120,915	110,553	115,025		
その他の収入	377	2,838	2,564		
支出 (b)	106,028	113,655	114,346		
人件費	105,204	70,869	73,939		
本社管理経費	151	30,599	31,894		
その他の支出	673	12,187	8,513		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	15,264	-264	3,243		
自主事業収入 (d)					
自主事業支出 (e)					
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0		
全体収支 【(c)+(f)】	15,264	-264	3,243		
備考	千円未満四捨五入のため、表記数値と収支の表記の差がある。 令和元年度は拠点間区分繰入金支出を支出に計上していないが、令和2年度以降は計上している。				

## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	改善済	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

## 8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
選択プログラムの実施	通常日課以外での、外出機会の提供など 余暇プログラムの提供	コロナ禍の影響が最大要因、再開の見通しは立っていません。

## 9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
(なし)		

## 10 指定管理者の自己評価

コロナ禍にともない、様々な制約の下でサービス提供する日々も2年余となりました。感染症を持ち込まない・持ち込ませないことが最優先とされる中で、結果的には利用者さんを屋内に引き籠らせがちになっています。そのストレスが、利用者さん同士、利用者さんと職員との関係性において、刺々しいやり取りとなって表出する場面が見受けられるようになりました。

主たるサービスは入浴と機能訓練となっていますが、「余暇活動」の柱だった外出プログラムは停止しており、それに代わる室内での余暇活動の充実が課題となっています。

## 11 所管課意見

評価期間の間は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として外出プログラムを停止していて、利用者満足度調査でもプログラムに関する要望が出ているものの、全体として評価は高い状態を維持している。適切な感染対策を行いながら室内でのプログラムを実施するなど、出来る範囲で利用者のニーズに応える様に努めていることを評価する。

今後の指定期間についても、利用者の安全確保に努めながら室内での余暇活動の充実など、引き続き利用者のニーズに応えられるように努めていただきたい。

## 12 選考委員会意見

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた外出プログラムができなくなるなどもあったが、成果指標の達成度は高い数値を維持しており、感染症対策を行いながら利用者が安心して利用できる安定的な運営が行われていることが伺える。

今後の指定期間についても、適切な感染症対策を継続しながら、利用者のニーズに対応ができるような事業展開を期待する。

